1　国語

学校番号	414

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	2	年次	3
使用教科書	東京書籍「精選古典Ｂ　新版」						
副教材等	新精選古典文法（東京書籍）・「読んで見て覚える古文単語３１５」（桐原書店） 常用国語便覧(浜島書店)・力をつける古文ステップ２（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ

・古人の感じ方や考え方に触れ、理解を深めていくなかで、人間のふるまいのパターンや心のありようなどを知り、ものの見方を豊かにすることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート、ノート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話	教材: 「十訓抄」	○			◎	○	a:教材に興味をもって学習に取り組み、話のおもしろさを読み取ろうとしている。 d:文章に即して話の展開を理解し、語句や文法に注意して現代語訳している。登場人物の行動と心情を読み取っている。 e:歴史的事実や和歌の修辞、和歌説話について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	物語	教材: 「源氏物語」	○			◎	○	a:教材に興味をもって学習に取り組み、『源氏物語』と紫式部について関心をもち、理解を深めようとしている。 d: 文章に即して話の展開を理解し、語句や文法、敬語に注意し、脚注などを参考に現代語訳している。敬語の用い方などから人物関係を正しく読み取っている。 e:敬語の意味と用法、重要語句について理解を深め、『源氏物語』についてその構成や内容の概略を正しく理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	日記	教材: 「紫式部日記」	○			◎	○	a: 日記を読み，作者のものの見方や感じ方，考え方について考察する。 d:本文を読み,道長と作者について的確に把握している。 e:さまざまな日記を読み,作品の内容や特色について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	漢詩	教材: 「李白と杜甫」	○			◎	○	a: 教材に興味をもって学習に取り組み、詩を読み，そこにうたわれた情景や心情を読み考察する。 d:本文の内容を正しく把握し、故事成語がどのように生まれ、使われるようになったかを読み取っている。 e:漢文訓読のきまりや基本的な句法への理解を深めている。詩の詩形・押韻・対句を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
2学期	物語	教材: 「堤中納言物語」	○			◎	○	a: 教材に興味をもって学習に取り組み、『堤中納言』やについて基本的な知識をもち、理解を深めようとしている。 d:本文の構成を把握し、内容や話の展開を理解している。また、和歌から詠み手の心情や考え方を理解している。 e:重要古語や古典文法、敬語の意味・用法について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査

	評論	教材: 「無名抄」	○			◎	○	a: 教材に興味をもって学習に取り組み、『無名抄』に歌論書というジャンルについて関心をもち、理解を深めようとしている。 d: 歌論を読み，論旨を的確に捉えている。 e: 重要な語句や文法、和歌の修辞方法について知識を深めている。また、鴨長明の歌人としての一面を知る。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	日記	教材: 「十六夜日記」	○			◎	○	a: 日記を読み，作者のものの見方や感じ方，考え方について考察する。 d:本文を読み,道長と作者について的確に把握している。 e:さまざまな日記を読み,作品の内容や特色について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	思想	教材: 「諸子百家」	○			◎	○	a: 教材に興味をもって学習に取り組み、政治を巡るそれぞれの思想を読み取ろうとしている。 d: 諸子百家の思想の違いを知り，ものの見方，考え方を理解している。 e:重要な語句や句法について整理し、理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
3学期	史話	教材: 「三国志の世界」	○			◎	○	a: 教材に興味をもち、史書と小説の違いを理解している。 d: 語句や句法を理解し，正しく音読や書き下しや現代語訳ができている。 e: **史書・『三国志』の特徴を理解する。また、**文脈に即して，内容や人物について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	俳諧	教材: 「蕪村」	○			◎	○	a:教材に興味を持って学習に取り組み、俳諧について関心を持ち、そこに詠み込まれた情景や心情を捉えている。 d: 俳論を読み，内容を正しく捉えられている。 e:それぞれの句やその作者についての歴史的事実を理解している。俳諧についての基本的な知識を持っている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。